

【開催概要】

日 時：令和5年2月28日（火）14時～15時

場 所：沖縄産業支援センター2階 OCVB 応接室

1. 発表事項

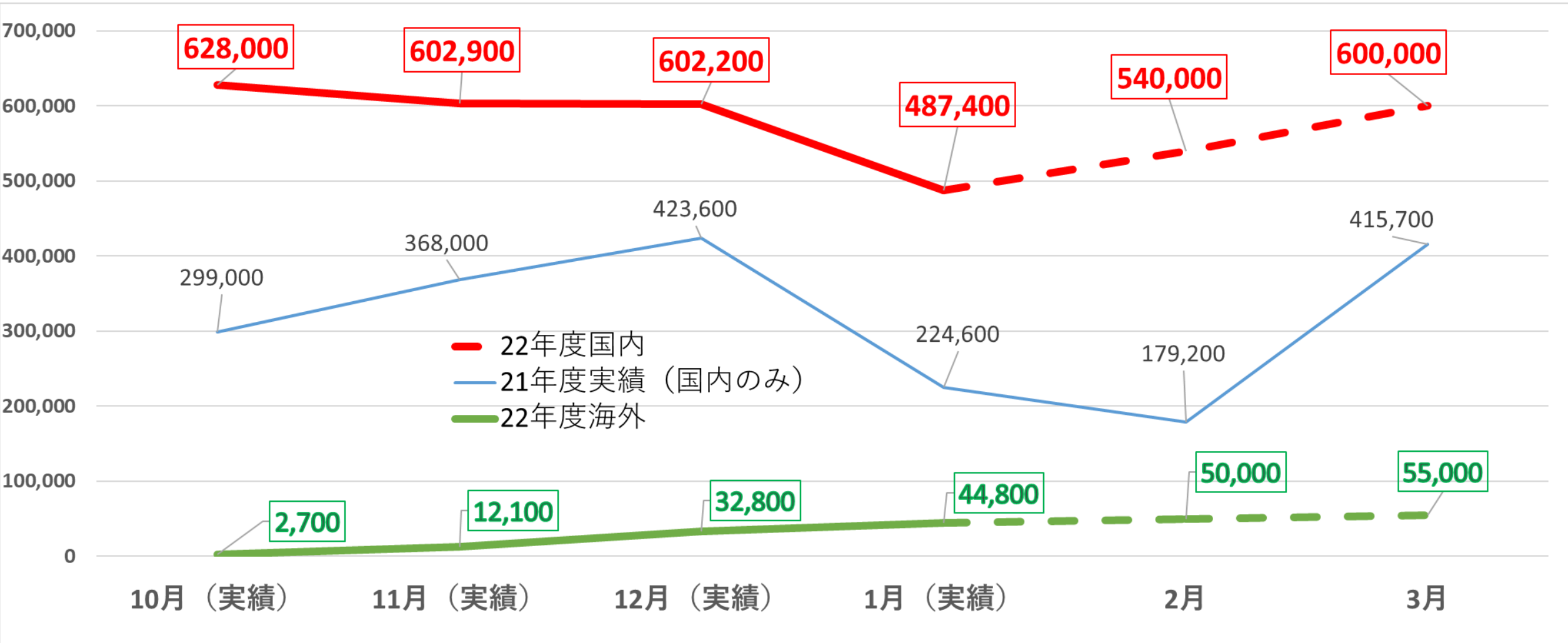
- ① 入域観光客数見通し（企画課）
- ② インバウンドの取組について（海外プロモーション課）
- ③ 修学旅行の現状と今後の取り組みについて（受入推進課）
- ④ 令和4年度第2回「沖縄県観光協会等協議会」全体協議会の開催（受入推進課）
- ⑤ 「沖縄リゾートワーケーション推進協議会」幹事会の開催について（プロジェクト推進室）

2. 報告事項

- ① 台湾教育関係者の沖縄視察団を招聘しました（受入推進課）
- ② 第2回戦没者遺骨及び遺留品発掘調査及び遺族来訪（旧海軍司令部壕）
- ③ ブセナ海中公園でのサンゴ植付実施について（ブセナ海中公園事業所）

1. 2022年度2月-3月入域観光客数見通し

	上期(4-9月)計	10月 (実績)	11月 (実績)	12月 (実績)	1月 (実績)	2月	3月	下期(10-3月)	4-3月計
22年度国内	2,997,500	628,000	602,900	602,200	487,400	540,000	600,000	3,460,500	6,458,000
22年度海外	100	2,700	12,100	32,800	44,800	50,000	55,000	197,400	197,500
22年度国内・海外合計	2,997,600	630,700	615,000	635,000	532,200	590,000	655,000	3,657,900	6,655,500
21年度実績 (国内のみ)	1,364,200	299,000	368,000	423,600	224,600	179,200	415,700	1,910,100	3,274,300
対21年度比(国内)	219.7%	210.0%	163.8%	142.2%	217.0%	301.3%	144.3%	181.2%	197.2%
対19年度比 (国内)	80.4%	101.2%	100.5%	105.2%	91.2%	101.9%	152.3%	237.3%	92.5%
対19年度比 (国内・海外)	56.0%	73.8%	75.4%	79.8%	67.0%	91.4%	151.4%	213.3%	70.3%



旅行需要は回復基調が続く。2月は全国旅行支援(おきなわ彩発見NEXT)効果やプロ野球キャンプ需要により予約は堅調に積み上がっている。3月も全国旅行支援効果や春休み需要が連休周辺を中心に好調に推移しているため、コロナ前と同水準の旅行需要を見込む。国際線(台湾、香港、韓国線)の需要も引き続き回復傾向となっている。

・2月 : 【国内】 全国旅行支援効果やプロ野球キャンプ需要により、入域観光客数はコロナ前とほぼ同水準の54万人(2020年2月対比101.9%)と見込む。
航空便の予約率も好調で、特に東京発沖縄線(離島含む)の需要が高い。ホテル稼働率も引き続き好調で19年度と同水準で推移。
ホテル宿泊単価についても、北部・離島リゾート地区の単価が特に高くなっており、シティホテルも堅調。

【海外】 台北線、香港線、仁川線ともに需要が徐々に伸びている。空路入域客数は5万人(※2019年2月対比 20.8%)となる見通し。
※海外客に関しては2020年2月よりコロナ影響有りのため2019年2月と比較

・3月 : 【国内】 全国旅行支援効果や春休み需要により、入域観光客数はコロナ前とほぼ同水準の60万人(※2019年3月対比91.3%)と見込む。
航空便の予約率も好調で、特に東京・大阪発沖縄線(離島含む)の需要が高い。ホテル稼働率も引き続き好調で19年度と同水準で推移。
※2020年3月はコロナ影響有りのため2019年3月と比較

【海外】 台北線、香港線、仁川線ともに需要が徐々に伸びている。空路入域客数5.5万人(※2019年3月対比24.3%)となる見通し。
※2020年3月はコロナ影響有りのため2019年3月と比較

(ホテルアンケート、航空会社等からのヒアリングをもとに算出、分析)

【お問い合わせ先】

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
企画・施設事業部 企画課 高安・与那国
TEL:098-859-6126 Mail: ocvb_yosoku@ocvb.or.jp

令和5年2月28日（火）

インバウンドの取組について

1. 2022年度空路、海路の再開状況について

2月28日時点では、空路は3カ国、地域と那覇空港を結ぶ路線が再開し、12の航空会社が運航を再開いたしました。詳細は以下の通りとなります。

路線	便数	備考
那覇台北	35便/週	5社運航
那覇仁川*	32-35便/週	5社運航
那覇香港	14便/週	2社運航
3路線計	79-84便/週	12社運航
便数回復率	38.9%	84便/週の場合

*35便/週は3/14以降

*回復率は2019年7月の週間便数を100として算出。

海路は3月、県内に9回の寄港予定があります。詳細は以下の通りとなります。

船名	寄港スケジュール
ウェステルダム	3/8石垣 3/9 那覇
アザマラ	3/10 石垣 3/11 那覇
ノーティカ	3/13 那覇
オイローパ	3/14 那覇
MSCポエジア	3/16 石垣 3/17 那覇
アマデア	3/20 那覇
セブンシーズ・エクスプローラー	3/24 那覇
ポナン	3/25-28 小規模離島（石垣・竹富・西表・久米島・座間味）
ウェステルダム	3/30 那覇 3/31 石垣

*天候、各種事情により直前の寄港取り止めの場合もあります。

2. 今後のインバウンド入域拡大に向けて

OCVB は 2023 年度の空路、海路のインバウンド誘客促進に向け、以下の課題解決に取り組んでまいります。

	空路	海路
課題	<ul style="list-style-type: none"> 航空、観光産業の離職率の高止まり、求人に対する応募数が少ないため、人員確保が難しい。(グランドハンドリング会社、出国手荷物検査会社、観光関連産業の人員確保や那覇空港職員用駐車場確保等) 二次交通(レンタカー、バス、タクシー等)の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 国策定ガイドラインに対応するための寄港地での人員確保 寄港地から市内への二次交通(シャトルバス、タクシー等)の拡充 寄港地として観光産業で働きたいという意識の醸成を図り人員確保に繋げる 寄港地住民に対するクルーズ寄港への理解促進
取組	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、航空、観光産業で働きたいという意識の醸成を図り 離職率の低減及び求人応募数の向上につなげる取組の実施 関係機関と連携しレンタカー、バス、タクシー稼働台数向上に繋がる取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、確実な受入態勢構築に向けた取組の実施 関係機関と連携し、バス、タクシー稼働台数向上に繋がる取組の実施 クルーズ受入地元住民へのクルーズ船内視察の機会や、啓発活動の実施

3. 航空会社との路線誘致商談会 Routes Asia2023 参加について

沖縄県と OCVB は、Covid-19 以降の本県発着国際線ネットワークの拡充に向け今月 14-16 日にタイ、チェンマイで開催された Routes Asia2023 (RAS2023) に参加いたしました。RAS2023 は国際線を誘致したい空港、DMO 等と航空会社との誘致交渉の場で、沖縄県、OCVB は 7 カ国、地域の 12 の航空会社と交渉をいたしました。今後も路線誘致に向け航空会社と継続して交渉してまいります。

4. 2023 年 3 月のプロモーション計画について

沖縄県、OCVB はインバウンド誘客促進の一環として、以下の旅行博に出展予定です。

開催国	開催期間	イベント名	概要	種別	その他
ドイツ	3/7-9	ITB Berlin (Internationale Tourismus-Börse Berlin)	世界的ツーリズムの見本市。180か国以上の国から10,000人を超えるビジネス参加者と1万社の出展者のマッチングの場となる。	B to B	ブース出展 (ドイツレップ)
英国	3/13	PATA Exchange	PATA(Pacific Asia Travel Association)UK主催の旅行商品造成を目的とした商談会。	B to B	参加 (英国レップ)
英国	3/13-14	IMM (International Media Marketplace)	旅行需要促進を目的としたメディア向けの旅行商談会。	B to C	参加 (英国レップ)

【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー
海外・MICE 事業部 海外プロモーション課
担当：曾我部、新屋敷

TEL:098-859-6127 Mail: shien@ocvb.or.jp

令和5年2月28日（火）

修学旅行の現状と今後の取り組みについて

1 現状

OCVB 調査：令和5年2月7日時点予約数・実績

調査対象：沖縄修学旅行取扱旅行社7社回答／15社（※前月9社回答）

(1) 令和5年1月～3月の実施見込み

- 228校、42,837人

(2) 令和5年4月～6月の予約見込み

- 523校、76,926人

(3) 暦年別の入込推移（見込）

令和元年【実績】 県観光政策課統計		令和2年【実績】 県観光政策課統計		令和3年【実績】 県観光政策課統計		令和4年【見込】 OCVB 調査 (R5. 2. 7)		令和5年【見込】 OCVB 調査 (R5. 2. 7)	
学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
2,398	409,011	395	70,414	381	70,038	1,204 (1,204)	225,488 (225,488)	1,730 (1,715)	325,799 (323,675)

※括弧内（ ）は前月調査値、今月未回答2社の数値は据え置き

(4) 今後の動向等

令和5年10月～12月のバス手配を懸念する声の一部旅行会社から出ていることから旅行会社・バス会社の（手配）調整会議の状況について、今後の会合等で確認していく。

2 県・OCVBの直近の取り組み

(1) 沖縄修学旅行プロモーション

①修学旅行関係者向け相談会等

- ・1月26日（木）：旅行会社向け修学旅行説明会（主催：茨城県空港対策課）

■来場者：旅行会社25名

- ・1月31日（火）：沖縄修学旅行相談会 in 静岡

■来場者：50名（学校5名、旅行会社45名）



▲各出展事業者 個別相談ブースの様子(令和5年1月31日)

- ・2月2日(木)：沖縄修学旅行相談会 in 岡山
 - 来場者：69名(学校28名、旅行会社35名、その他6名)
 - ※学校には岡山東商業高校 生徒12名含む



▲各出展事業者 個別相談ブースの様子(令和5年2月2日)

- ・2月3日(金)：沖縄教育旅行セミナー説明会(主催：高松空港振興期成会)
 - 来場者：13名(学校7名、旅行会社6名)

②モニターツアー

- ・2月25日(土)～26日(日)

新しい学習ニーズ(探究学習、SDGs)や県内の課題に対応したプログラム等のモニターツアーを高校教員、修学旅行関係団体に体験いただいた。

〈視察内容等〉

平和学習(旧海軍司令部壕、南風原文化センター、嘉数高台・大学生とのディスカッション)、比謝川マングローブ遊覧(自然環境学習)、道の駅かでな(2022.4.28リニューアルオープン)、うるま Quest Journey(SDGs、探究学習) MRO Japan 見学(航空機整備工場)、意見交換会

■参加者：高校教員10名(近畿1名、首都圏9名)、修学旅行関係団体2名

3 県・OCVBの今後の取り組み

- (1) 第3回平和学習分科会
令和5年3月7日(火)
- (2) 第3回商品造成・PR分科会
令和5年3月17日(金)

お問い合わせ先

(一財)沖縄観光コンベンションビューロー
国内事業部 受入推進課 教育旅行担当：恩田
TEL:098-859-6129 Mail:shuryo@ocvb.or.jp

令和5年2月28日(火)

令和4年度第2回「沖縄県観光協会等協議会」全体協議会の開催

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー(会長:下地芳郎)は、観光振興に関する具体的な方策等を協議するとともに、北部地区、中部地区、南部地区、八重山地区、宮古地区、久米島地区の計6地区で行われた地区協議会の共通課題について審議し、必要に応じて集約した意見を国または県、市町村への要望等として進言するため第2回「沖縄県観光協会等協議会」全体協議会を開催いたします。今回の全体協議会は、ハイブリッド形式で県内の観光協会等42団体が参加予定です。

■概要

【日時】令和5年3月3日(金) 14:00-16:00

【会場】沖縄産業支援センター1階 大ホール

【参加者】県内観光協会等42団体

(内訳) 会場参加 33団体 51人 / オンライン参加 9団体 11人 / 計 42団体 (62人)

【内容】

- 1 開会の挨拶
- 2 各地区協議会報告(北部、中部、南部、八重山、宮古、久米島 計6地区)
- 3 全体審議
 - (1) 各地区協議会で出た共通課題
 - ・財源・人材確保
 - ・行政との連携
 - ・地域間連携
 - ・二次交通
- 4 意見交換、その他各団体からの情報共有等
- 5 その他
 - ・コミュニケーションプラットフォーム「Teams」の活用について 他

【お問い合わせ先】

(一財)沖縄観光コンベンションビューロー
国内事業部 受入推進課 担当:川崎、池原
TEL: 098-859-6129 FAX: 098-859-6221
Mail: ukeire2@ocvb.or.jp

令和5年2月28日（火）

「沖縄リゾートワーケーション推進協議会」幹事会の開催について

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）は、OCVB が事務局を務める「沖縄リゾートワーケーション推進協議会」の第2回幹事会を3月6日（月）沖縄産業支援センターにて開催いたします。

幹事会においては、今年度の事業報告と次年度の事業計画などの他、ワーケーションの第一人者ともいわれている山梨大学の田中教授によるオンライン基調講演を行います。

記

<日時>

令和5年3月6日（月）13:30～15:00（予定）

<場所>

沖縄産業支援センター 304 中研修室（沖縄県那覇市字小禄 1831 番地 1）

<内容>

- (1) 令和4年度活動報告について
- (2) 令和5年度活動計画について
- (3) 山梨大学・田中敦教授による基調講演

「ワーケーションの潮流と新元年として2023年（仮）」

<田中敦（たなか あつし）氏>

山梨大学生命環境学部地域社会システム学科教授。専門分野は観光学、主な研究テーマはワーケーション、ワークスタイルとライフスタイル、働き方改革、ワークプレイス・観光産業における経営戦略。

With コロナ時代の「新たな旅のスタイル」に関する政府委員

以上

【お問い合わせ先】

沖縄リゾートワーケーション推進協議会事務局
(OCVB 企画・施設事業部 プロジェクト推進室)

担当：山田・村西・河村

TEL: 098-851-3868

FAX: 098-859-6221

Mail: workcation@ocvb.or.jp

令和5年2月28日（火）

台湾教育関係者の沖縄視察団を招聘しました

沖縄県および一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下OCVB）は、日本政府観光局（JNTO）事業「ビジット・ジャパン台湾訪日教育旅行促進事業」の一環として行われた台湾教育関係者の地方招聘事業に参画し、沖縄を今後の教育旅行先として検討していただくことを目的に、去る2月14日（火）～18日（土）に台湾教育関係者5名に沖縄県内各地を視察いただきました。

本県においては、新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年度（2019年度）には6団体（OCVB把握分）が台湾から教育旅行に訪れておりましたが、それ以降実施されておらず、今回は約3年ぶりの台湾学校関係者による沖縄訪問となりました。

台湾の教育旅行においては、訪問先地域の学校との交流を求める声が多いことから、県内の公立高校2校を訪問し、授業見学や教員との意見交換を行いました。

両校との意見交換時には、各学校の年間スケジュールや特色ある行催事についての質問や、日台双方で生徒同士が交流できる相互訪問に対する要望などが出ました。

台湾の教育関係者からは、「これまで沖縄は東京や大阪と比較し日本の一地方というイメージだったが、全く違っていた。」「独自の歴史や文化に基づく多様な体験や訪問地があり、楽しみながら教育的な効果も期待できる。」等のコメントがあり、教育旅行先として沖縄を今後の選択肢の一つとしたいという声が多く上がりました。

沖縄県内の教育機関においても、新型コロナウイルス感染症の影響で長らく海外渡航や交流の機会が限られておりましたが、今後海外からの教育旅行が実施されると国際交流および相互理解の促進、グローバル人材の育成につながることを期待されます。

OCVBではインバウンド誘客および国際交流促進の一助となることを目的に、今後も台湾をはじめ海外からの教育旅行誘致を強化してまいります。

【実施概要】台湾教育旅行関係者招聘事業（JNTO主催事業）

<目的> JNTO事業「令和4年度ビジット・ジャパン台湾訪日教育旅行促進事業」の地方招聘事業の一環として、台湾教育旅行関係者5名に沖縄へお越しいたいただき豊富なメニューを提供することで、今後の誘致に繋げていく。

<視察期間> 令和5年2月14日（火）～18日（土）

<参加者情報>

・高級中學（日本の高等学校普通科に相当）

新竹市1校、嘉義市1校、高雄市1校

・高級家事商業職業学校（日本の高等学校職業科に相当）

台北市1校、高雄市1校

<視察内容等>

1	2月14日 (火)	那覇空港到着 歓迎会および交流会
2	2月15日 (水)	首里城公園 視察 → テーマパーク体験・紅型染エコバック作成体験 → 沖縄県立向陽高等学校 訪問 → 沖縄県営平和祈念公園 視察
3	2月16日 (木)	沖縄県立具志川商業高等高校 訪問 → 民泊ホームビジット(沖縄料理体験等) → サンゴ苗作り体験
4	2月17日 (金)	ブセナ海中公園 グラスボート乗船体験 → 紅いもタルト手作り体験 → 沖縄空手会館(空手体験、資料館見学) → 意見交換会
5	2月18日 (土)	台湾へ出発



▲向陽高校訪問(2月15日)



▲具志川商業高校訪問(2月16日)



▲民泊ホームビジット入村式(2月16日)



▲空手体験(2月17日)

お問い合わせ先

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課

教育旅行担当：恩田・屋宜・天久(玲)

TEL: 098-859-6129

Mail: shuryo@ocvb.or.jp

令和5年2月28日(火)

旧海軍司令部壕 第2回戦没者遺骨及び遺留品発掘調査及び遺族来訪

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎）が運営する旧海軍司令部壕では、昨年10月の第1回未公開壕発掘調査に続き、令和5年2月19日(日)から2月26日(日)までの8日間、第2回目の調査を実施いたしました。

調査の結果、多数の遺留品と複数のご遺骨が発見されました。第2回遺留品につきましては、4月を目処に、特別展として一般公開を予定しています。

（第1回発掘調査の遺留品については、旧海軍司令部壕にて一般公開中です。）



また、昨年発掘された陸戦隊編成表記載の鹿児島出身兵のご遺族が3月4日(土)に来館されることになりました。2月18日(土)に来館された茶木（ちゃのき）久美子様は淵上正治（ふちのうえまさはる）氏のご長女で、今回来館される方は6女の千津子様となります。

【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー
企画・施設事業部 旧海軍司令部壕事業所

担当：酒井

TEL: 098-850-4055 FAX: 098-850-9342

Mail: kaiungo@ocvb.or.jp

令和5年2月28日（火）

ブセナ海中公園でのサンゴ植付実施について

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）は、ザ・テラスホテルズ株式会社（代表取締役社長：國場幸伸氏）と共同で、アラムコ・アジア・ジャパン株式会社による沖縄県サンゴ礁保全推進協議会からの「サンゴ養殖移植助成事業」の助成支援を受け、今年度のサンゴ植付を以下の日程にて実施いたします。つきましては、当日の取材についてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

【日 時】第1回実施日：令和5年3月3日（金）

※天候不良等の場合、令和5年3月6日（月）が予備日となります。

第2回実施日：令和5年3月21日（火）

※天候不良等の場合、令和5年3月22日（水）が予備日となります。

【場 所】ブセナ海中公園海域

【植付するサンゴ】：①シコロサンゴ（第1回実施時に植付）

②エダコモンサンゴ（第2回実施時に植付）

【WEBページ】：<https://www.busena-marinepark.com/cultivated-coral/>

今年度の取り組みは準備でき次第、更新を予定しております。

取り組みに関する英語ページの公開も予定しております。



▲シコロサンゴ参考写真



▲エダコモンサンゴ参考写真

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
ブセナ海中公園事業所 担当：上原

TEL：0980-52-3379 FAX：0980-53-0675

Mail：busena@ocvb.or.jp